



学校だより 2月号

令和6年2月5日
かほく市立河北台中学校

さわやか

学校経営目標 「自ら、共に学ぶ、発信する学校」

「自分で考え、行動する」

かほく市立河北台中学校長 漢野 有美子

3学期が始まり、早1か月が過ぎました。3年生は先週、私立高校の一般入試を終え、1か月後の公立高校入試に向け受験本番といったところです。2年生は立志式が行われ、これまでの自分を振り返るとともに、それぞれが自分の将来について考える良い機会となりました。1年生はキャリア教育の一環として職業人から話を聞く会を実施しました。この他、生徒会執行部の生徒たちは、地震で被災した現地の方々に何かできることはないだろうかと考え、募金活動を行いました。また、被災した人たちに少しでも元気を与えようと応援幕の制作にも取り組みました。募金活動では朝早くから募金箱を持った生徒が玄関に立ち、多く生徒が募金に協力してくれました。応援幕は「石川に笑顔を」と大きな文字が記され、その余白に「助け合おう」「未来は明るくなる」などの温かい言葉が多く生徒たちから寄せられました。この応援幕は今後「道の駅高松」に設置される予定です。この取組を行った生徒たちの行動をととても誇りに思います。自分で考え、行動する生徒達の姿は、本校校訓「常に正しく」を実践したものであると感じました。



2月4日は「立春」、まだまだ厳しい寒さが続いています。暦の上では「春」になります。少しずつですが温かくなり、木々の芽も膨らんでいきます。生き物も春に向けての準備を始める時期です。「立春」「立夏」「立秋」「立冬」と季節の変わり目がありますが、その前日を「節分」と言い、江戸時代から「立春」の前日（2月3日）だけを「節分」というようになったそうです。立春以後の寒さを「余寒」といい、この時期は気温の変動が大きくなりやすく、春めいて暖かくなったかと思っても、次の日には寒さが急にぶり返すことが多く見られ、体調を崩しやすい頃でもあります。健康的でリズムのある生活を送り、気力・体力を充実させて、毎日を過ごしてほしいと思います。全校生徒が厳しい冬を乗り越えてそれぞれの春を迎えられるよう努力してほしいと思います。春はもうそこまで来ています。春を見据えて、前向きにあと2か月を過ごしてほしいものです。



立志式(2年)



職業人に学ぶ会(1年)

□ 2月の目標 「正しい行動をしよう」

《生活》キーワード「公共の場にふさわしい行動をしよう」

2月はしめくくりの3月（受験、卒業、進級）に向けて万全の準備をする1ヶ月です。春シーズンの好スタートは2月の出来で決まるといってもいいでしょう。勉強とともに、生活のレベルも上げましょう。2月は下の3つの項目を意識して行動しましょう。

【実践項目】

- ① 正しい身だしなみ・・・制服の着こなし、頭髪、ソックス、つめ、まゆ毛
- ② 正しいあいさつ・・・気づきのあいさつ、相手を意識したあいさつをしましょう。
- ③ 正しい言葉遣い・・・場に応じた話し方（敬語・丁寧語など）をしましょう。

〈名言紹介〉

『心が変われば行動が変わる。行動が変われば習慣が変わる。習慣が変われば人格が変わる。人格が変われば運命が変わる。』 ウィリアム・ジェームズ(アメリカ合衆国の哲学者・心理学者)

自分を変える第一歩は【心の在り様】です。正しい言動を積み重ねることで自分を認めてくれたり、応援してくれたりする人が増え、やりがいや充実感が増大します。そして運命や運氣も向上します。

《学 習》キーワード「最後のテストで最高の結果を！」

3年生は15日(木)・16日(金)、1・2年生は21日(水)・22日(木)に3学期期末テストが行われます。このテストが1年間をしめくくる、最後の定期テストとなります。今年度最後のテストを最高の結果でしめくくることができるよう、万全の準備をしてテストをむかえてほしいと思います。なお、テストの準備を進めるにあたって、以下のポイントを意識するとよいでしょう。

【「最高の結果」を残すために・・・

今から意識・実践してほしいポイント】

① 「早めに」始めましょう

最高の結果を残すためには、十分な準備が必要です。早めにテスト勉強を始めることで、1日あたりに取り組まなければならない量を減らすことができ、この先の見通しがもてます。まずは「早めに」「無理のない」計画を立てることからスタートしましょう。

② 「毎日」続けましょう

計画を立てたら「実行」です。まずは得意な教科、簡単な問題から取り組み、やる気が起ころうまで頑張ってみましょう。そして毎日こつこつと続けることこそが学力アップへの最短コースです。毎日の授業を大切にしつつ、計画的に家庭学習にも取り組みましょう。漫画やゲーム、テレビを遠ざけておくのも効果的です。

③ 「時間をかけて」「何度も」やってみましょう

テスト勉強では、各教科からの課題やワークに取り組むこともあるでしょう。中には、「間違えやすい問題」や「答えに迷ってしまう問題」に出会うこともあるでしょう。**最高の結果を残すためには、苦手な問題をなくすことが欠かせません。**分からない問題や間違えやすい問題こそ、何度も繰り返し解いたり、先生に質問したりして、時間をかけて取り組み、「わかる」「できる」問題を増やしましょう。

